

された質問、(1)在宅死の定義について(鹿児島県)、(2)インセンティブ導入による公的医療保険料増減制について(山口県)、(3)新たな医療事故調査制度に向けた日本医師会の対応について(兵庫県)、(4)医療事故調査制度に関して(千葉県)、(5)医療勤務環境改善支援センター事業について(岡山県)、(6)地域産業保健事業に関する質問、意見(東京都)、(7)日医が都道府県医師会と密なる連携をとるために(奈良県)、(8)子宮頸がん予防ワクチン接種勧奨に関する日本医師会の見解(茨城県)について各担当役員から説明があり、一部議題については関連質疑と答弁が行われた。詳細は日医ニュース等を参照願いたい。

7. 北海道三師会[11月21日(金)]について

(三戸常任理事)

本年度は北海道薬剤師会の当番で開催した。各団体の会長挨拶、出席者紹介の後「2025年に向けた北海道における地域医療提供体制の確保について(国の新たな財政支援制度への取り組み)」をテーマに当会は小熊副会長より発表し、その後懇談を行った。

8. 第38回北海道救急医学会学術集会[11月23日(日・祝)・釧路市]について(目黒常任理事)

市立釧路総合病院・其田副院長兼救命救急センター長、同病院救命救急センター救急外来・澤田看護次長、釧路市消防本部・山根消防長が当番幹事となり、釧路市観光国際交流センターで開催された。特別講演、招待講演、一般演題69題が行われ、346名

の参加があった。今回は、平成27年11月7日(土)に札幌市において、札幌医科大学・成松高度救命救急センター長等が当番幹事となり開催予定。

9. 外部各委員会報告

(1) 第9回北海道地域連携クリティカルパス運営協議会[10月31日(金)]について(橋本常任理事)

脳卒中あんしん連携ノート(地域連携クリティカルパス)(平成24年10月本格運用)と近く本格運用予定の急性心筋梗塞あんしん連携ノート(地域連携クリティカルパス)を合冊した脳卒中・急性心筋梗塞あんしん連携ノートを年度内に作成することを含む活動経過報告と25年度決算・26年度予算に関する協議を行い、種々意見交換を行った。

10. その他

(1) 平成26年度病院管理研修会[12月6日(土)]について(伊藤常任理事)

標記研修会について小職より案内(11月1日付・道医報第1154号附録)した。北海道保健福祉部地域医療推進局・大竹雄二地域医療課長を講師に「社会保障制度の将来像とこれからの北海道の医療」をテーマに講演を行う予定。

(2) 第3回都道府県医師会長協議会[1月20日(火)]について(三戸常任理事)

都道府県医師会長協議会への議題提出および期限について確認した。

お知らせ

協会けんぽからの『診療報酬明細書について(照会)』の変更について

協会けんぽでは、退職や扶養家族の解除により健康保険の資格喪失となった日以降を含む診療の可能性のある受診月の診療報酬明細書について、[受診日]・[点数]・[被保険者証の確認日]等を照会させていただいておりますが、以下の通り変更を予定しております。

- 送付方法が変更になります(照会対象が複数ある場合)
これまで医療機関に対し一括して照会文書を送付していましたが、1件ずつ個別で送付します。
- 回答書の記載様式が変更になります
記載していただく項目を分かりやすく整理したレイアウトに変更します。
- 変更時期
平成27年1月中旬以降の照会より、順次変更します。

今後とも引続きご協力いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】 協会けんぽ 北海道支部 レセプトグループ ☎011-726-0359